

国立大学法人大分大学



OITA UNIVERSITY

PR / 強み、具体的な業務内容 など

- ・設立 旧 大分大学 昭和 24 年 5 月
大分医科大学 昭和 51 年 10 月
新 大分大学 平成 15 年 10 月(旧 大分大学と大分医科大学が統合)
国立大学法人大分大学 平成 16 年 4 月
- ・従業員数 2,112 名(令和 4 年 5 月 1 日現在)
- ・業種 教育
- ・事業内容 教育・研究
- ・住所 大分市大字旦野原 700 番地
- ・TEL 097-569-3311(電話番号案内)
- ・ホームページ <https://www.oita-u.ac.jp/>
- ・採用実績/新卒 事務職員 7 名(2022 年度) ※事務職員以外の職種でも採用実績あり

1. 企業紹介、PR

大分大学は『改革なければ明日はない!』の精神で、「大学のインテリジェンス・ハブ[※]化」、「社会で求められる多様な人材の育成」、「戦略的[※]大学経営の実現」などの観点から、常に変化し、進化する明日の大分大学を築くために、教職員一丸となって日々改革の推進に取り組んでいます。

改革の実現に向け、ともに大分大学の未来を切り拓くあなたを待っています。

※大学が地域社会の様々な情報を収集し、分析することによって地域に必要と考えられる政策を提言すること及び事業主体あるいは人材のマッチングを図ること。本学の目指す機能・役割。

2. 経営トップの考え方

本学は、「改革なければ明日はない」の強い決意のもとに、大分県唯一の国立大学としての使命を果たすべく、これまで様々な改革に邁進してきました。昨年度は、本学初の全国共同利用型の施設となる「グローバル感染症研究センター」や、本学の研究力強化に向けた「研究マネジメント機構」を設置しました。また、本年4月には、感染症の流行(パンデミック)や自然災害など平時ではない想定を超えたクライシス(危機)が多発する状況の中で、多様化するリスク、マルチハザードへの対応を強化・高度化し、安全・安心かつ持続可能な地域形成社会に寄与するため、「クライシスマネジメント機構」を設置しました。さらに、全学改組も進めており、令和5年(2023年)4月には、医学・医療の基盤を支える融合人材の育成や進化した医工連携の構築を目標とした「医学部先進医療科学科」の設置をはじめ、理工学部の1学科への改組、教育学部の入学定員増を予定しています。

今後も社会情勢・社会構造の変化を見据え、本学の果たすべき役割・未来のあるべき姿を強く意識しながら、地方創生の中核拠点としての貢献はもとより、地球規模の課題解決に向けても貢献できる大学を目指し、進化を続けてまいります。

3. 企業の強みと今後の展開(今後の目標、目標に向けた取

組、業界や市場の状況 など)

研究分野では、理工学部教員と宇宙航空研究開発機構(JAXA)との人工衛星に関連する共同研究が注目を集めたり、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が実施する橋渡し研究プログラムに医学部教員が研究代表者として申請した研究が複数採択されたりと、着実な成果を上げています。また、本年7月には、企業との共同研究をさらに発展させる形で医学部に新たな寄附講座を設置するなど、研究体制も一層の充実を図っております。

教育分野でも目覚ましい成果を挙げており、例えば、教育学部においては、過去6年間の正規教員就職率の平均が全国第1位となりました。また、令和4年国家試験に関して、医学部においては、医師の合格率が九州内の国立大学で第1位となり、看護師の合格率が100%を達成しました。さらに福祉健康科学部においては、理学療法士及び精神保健福祉士の合格率が100%を達成し、社会福祉士の合格率が全国第3位となりました。

しかしながら、今後は若者も労働人口も高齢者も減少する「人口減少社会」が到来する等の変化の中で、大学統廃合の時代を見据えた連携策の検討なども含め、客観的な評価を省みながら、自らを改革していく必要があります。本学は、学生の教育・指導に情熱を注ぎ、世界水準に比肩する研究分野を複数有し、持続可能な社会の核となる大学として、社会から厚い信頼を得ることを目指します。同時に地域のさまざまな課題の解決や持続可能な社会のあり様を提案、推進できるインテリジェンス・ハブとしての機能を高めていきます。

4.社風について

前例を踏襲するだけでなく、これまでに築き上げた知識や経験に基づき、よりよい大分大学を目指して業務に取り組むことができる、非常に風通しの良い職場です。

5. 求めている人材について

- ・強い意志と使命感で責任をもって仕事に取り組むことができる方
- ・冷静な視点で幅広い角度から物事を見つめることができる方
- ・問題や課題を的確に捉え、理論的思考に基づき、解決できる方
- ・状況に応じた適正なコミュニケーションを図ることができる方

6. 就職活動を迎える学生へ / アドバイス など

まずは自己分析をすることをお勧めします。自分自身の性格や長所・短所を見つめ直したり、過去の経験を振り返ったりすることで、自分がどんなことに興味があるのか、どのような仕事をしたいかなどが見えてくると思います。

7. 学生の主な質問について

Q1. どのような業務がありますか？

A1. 学生対応をイメージされる方が多いと思いますが、総務や人事などの管理業務、財務などの契約出納業務、附属病院での医事関連業務など多岐にわたっています。

Q2. 仕事をするうえで取得したほうがよい資格はありますか？

A2. 必ずしも必要な資格はありませんが、働くなかで業務に合わせて取得される方もいます。

Q3. 採用後に研修はありますか？

A3. 初任者研修だけではなく、フォローアップ研修や学外研修(会計研修、情報システム研修)、長期研修(文部科学省など)があります。

8. 参考になるリンク

九州地区国立大学法人等職員採用試験事務室

<https://www-shiken.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

実際に働く人の声

総務部人事課/勤務年数:2年

<働いている環境について>

職員は穏やかな方が多く、とても働きやすい職場だと思います。私が所属しているグループでは業務を進める際によく意見交換をしており、些細なことでも相談しやすい環境です。

<おすすめポイント>

配属される部署により繁忙期は異なりますが、年次有給休暇だけではなく夏季休暇等の特別休暇も整備されているため、仕事もプライベートも充実させることができます。

<先輩からの推薦>

・推薦の理由(以下より、アピールできる項目の選択と、その詳細)

理由	詳細
<input type="checkbox"/> 成長が見込める	
<input type="checkbox"/> 安定している	
<input type="checkbox"/> 専門性が高い	
<input checked="" type="checkbox"/> 個人が尊重される	若年層では様々な配属先で多岐にわたる経験をしてもらい、本人の希望や適性、大学の人事戦略に応じて徐々に専門的な分野まで担当することができます。
<input type="checkbox"/> 挑戦できる	
<input checked="" type="checkbox"/> 組織風土が良い	職員同士助け合って業務に取り組むことができます。
<input type="checkbox"/> 自由にできる	

学生へ就職するうえでもっと知って欲しいこと(詳細情報)

○事務職員だけではなく、専門知識をもった技術職員の採用も行っています。

・施設系技術職員…建築・電気・機械等を専門とし、キャンパス内の多種多様な施設に関する計画、施工から保全等の業務を行う。(試験区分: 電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報 等)

【採用実績】

2022 年度 電気1名、建築1名 / 2021 年度 機械2名 / 2020 年度 電気1名

・教室系技術職員…各学部又は学部に附属して設置される研究施設等において、教育・研究に関する業務を行う。(試験区分: 電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報 等)

【採用実績】

2022 年度 電気1名、機械2名、化学1名、情報2名

2021 年度 情報1名、化学、生物・生命科学1名

2020 年度 化学1名、生物・生命科学1名

・医療系技術職員

医療系技術職員の公募については、以下リンクをご確認ください。

<https://www.med.oita-u.ac.jp/kyuujin/>

○事務職員については旦野原キャンパス・挾間キャンパス・王子キャンパス間、施設系技術職員については旦野原キャンパス・挾間キャンパス間で異動があります。

○本学は全国に先駆け、平成 23 年(2011 年)4 月から全キャンパスを敷地内全面禁煙とし、無煙環境担当の学長特命補佐を設置するなど、学内の無煙環境の構築を積極的に推進してきました。